



## インバウンドとは？

### ◆外国人の訪日旅行

この言葉をよく目にすると思ったブン子さん。北陸経済研究所（富山市）の主任研究員、楠智也さんに聞きました。

Q－何を意味する言葉かな。

A－国内を訪れる外国人旅行のことです。ほかの言葉と組み合わせて、訪日旅行者への対応を「インバウンド対応」、訪日旅行者の消費を「インバウンド消費」などと使います。

Q－年々増えているのかしら。

A－国は2003年からビジット・ジャパン事業として本腰を入れ始めました。この年の訪日客は521万人。10年に訪日客数を1千万人にする目標は達成できませんでした。13年には1036万人まで増えました。理由は円安や近隣国の経済成長、ビザ要件の緩和、航空ネットワークの充実、そして日本のプロモーションの充実などが考えられます。中国人の「爆買い」という言葉も使われるようになりましたね。16年は2404万人となり、政府は20年に4千万人にする目標を立てています。

Q－富山はどんな状況かな。

A－16年の県の外国人宿泊者数は約23万人。特に立山黒部アルペンルートが人気ということです。最も多い国・地域は台湾で、2番目は香港ですが、どちらも暖かい地域なので、雪の大谷や紅葉が人気のようです。

Q－今後の課題ってなんだろう。

A－県内を訪れても一部だけを見て通り過ぎてしまう人がいるようです。昨年に策定された新たな県観光振興戦略プランでは、立山黒部に加えて世界遺産の五箇山、世界で最も美しい湾クラブに加盟した富山湾とともに「海のあるスイス」というブランドを打ち立てていこうとしています。受け入れ環境の整備や情報発信も進め、19年には外国人宿泊者数を56万人に増やす目標です。訪日客は富士山や京都、北海道といった定番の観光地以外に目を向け始めています。富山の魅力をさらにアピールしていくことが求められています。

